

HTML演習 HTML5対応版 別冊

確認問題解答・解説
演習問題解答

S C C

第 1 章

■ 確認問題解答・解説 ■

■ 確認問題 1.1 (1) ②

[解説]

HTTP による通信で、ブラウザから Web サーバに対して Web ページを要求することを「リクエスト」、その要求に応じて Web サーバが返信することを「レスポンス」と呼びます。したがって、正解は「②リクエスト」です。

■ 確認問題 1.1 (2) ③

[解説]

Web サーバから送信されてくる「レスポンス」は、HTML データです。この HTML をブラウザが解釈して画面を合成することを「レンダリング」と呼びます。したがって、正解は「③ レンダリング」です。

■ 確認問題 1.1 (3) ④

[解説]

ブラウザからのリクエストに対して、すでに用意された HTML ファイルをレスポンスする場合を「静的な Web ページ」と呼びます。これに対して、Web アプリケーションなどでは、リクエストに追加されたデータによって CGI プログラムが HTML を新たに生成します。このような HTML を「動的な Web ページ」と呼びます。したがって、正解は「④ 動的 Web ページ」です。

■ 確認問題 1.2 (1) ①

[解説]

HTML では「<タグ名> ~ </タグ名>」で文章を囲い、文章に意味や役割を設定します。したがって、正解は「① タグ」です。

■ 確認問題 1.2 (2) ② ④

[解説]

HTML5 の特徴は、「CSS3」や「JavaScript の API」を仕様を含めたところにあるので①は間違いです。また、バックグラウンド処理もできる仕様になっているため③も間違いです。したがって、正しいのは「② 同じページのまま Web サーバと通信できる。」と「④ マルチメディア再生ができる。」です。

■確認問題 1.2 (3) ①

[解説]

CSS は、HTML ファイル内にも、外部ファイルとしても記述できます。そのため、②と③は間違いです。
また、「table タグ」は HTML であり、CSS ではありません。したがって、正しいのは「① CSS は、Web ページの文章とデザインを分離する。」です。

■確認問題 1.2 (4) ④

[解説]

Web サーバ側で動作するプログラムを作成する言語を「サーバーサイドスクリプト言語」と呼び、クライアントであるブラウザ側で動作するプログラミング言語は「クライアントサイドスクリプト言語」と呼びます。
したがって、正解は「④ クライアントサイドスクリプト言語」です。

■確認問題 1.3 (1) ③

[解説]

HTML ファイルを作成するには、テキストエディタが必要です。ブラウザやメールソフトによっては、HTML ファイルを作る機能があるかもしれませんが、この中で最も適しているものは「③ テキストエディタ」になります。

■確認問題 1.3 (2) ①イ ②エ ③ウ ④ア

[解説]

HTML のタグは、最初に「開始タグ」、「情報を追加する文章」、「終了タグ」の順で記述します。
この「開始タグ」から「終了タグ」までの部分を「要素」と呼びます。

■確認問題 1.3 (3) ①イ ②エ ③ウ

[解説]

HTML のタグには、「属性」のあるものがあります。属性とは、タグに追加する補足情報です。
属性は「属性名」と「属性値」で構成されます。
属性の書き方は、属性名を記述し、「=」と属性値を記述します。属性値は「ダブルクォーテーション」で囲みます。

■確認問題 1.4 (1) ①

[解説]

HTML5 のコンテンツ・モデルでは、title 要素は「メタデータ・コンテンツ」です。したがって、正しいのは「① メタデータ・コンテンツ」です。

■確認問題 1.4 (2) ③

[解説]

HTML5 のセクションは、見出しとその内容を含む文章をまとめたものであり、新たなセクションが開始されると、アウトラインのレベルが 1 つ下ります。したがって、正しいのは「③ 見出しとその内容を含む文章をまとめたもの」です。

■確認問題 1.4 (3) ③

[解説]

HTML5 では、要素の内容が記事であることを表す「**article**」という要素が追加されました。したがって、正しいのは「③ **article** 要素」です。

■演習問題解答■

■演習問題 1 (解答例)

exercises01.html

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>HTML5 演習</title>
  </head>
  <body>
    <h1>コンピュータ</h1>
    <h2>ソフトウェア</h2>
    <h3>オペレーティングシステム</h3>
    <h3>アプリケーション</h3>
    <h2>ハードウェア</h2>
    <h3>CPU</h3>
    <h3>メモリ</h3>
    <h3>入力装置</h3>
    <h3>出力装置</h3>
  </body>
</html>
```

第 2 章

■ 確認問題解答・解説 ■

■ 確認問題 2.1 (1) ② ④

[解説]

em 要素は、テキストを強調するために使用します。**mark** 要素は、テキストをハイライトして目立たせ位置をわかりやすくします。**b** 要素は、文書内のキーワードや専用語句など、他の文章と区別したいときに使用します。**i** 要素は、音声や想像、専門用語など、他と区別してイタリック体で表示するために使用します。したがって、間違っているのは「② **mark** 要素は、音声や想像、専門用語などを、他のテキストと区別するために使用します。」と「④ **i** 要素は、テキストをハイライトして目立たせ、他の文章から参照する際に位置を判りやすくします。」です。

■ 確認問題 2.1 (2) ③

[解説]

免責、警告、法的規制、著作権(コピーライト)などの注釈や細目を表現するときに使用するのは「③ **small** 要素」です。

■ 確認問題 2.1 (3) ③ ④

[解説]

`http://www.scc-kk.co.jp` のルートにある、`sample02.html` を絶対パスで記述すると、「`http://www.scc-kk.co.jp/sample02.html`」です。同じルートにある場合、相対パスはファイル名だけです。そのため、正しいのは、
「③ `リンク`」と
「④ `リンク`」です。

■ 確認問題 2.2 (1) ④

[解説]

GIF は、256 色までしか扱えないため写真には向きません。したがって①は間違いです。**PNG** には、アニメーション機能はないので②は間違いです。**JPEG** は、非可逆圧縮で圧縮比率を上げると画質が下がるため③は間違いです。したがって、正しいのは「④ **SVG** は、画像を線や面の集合で表現する「ベクター画像」によるフォーマット。画像を拡大縮小しても、画像が粗くならない。」のみです。

■確認問題 2.2 (2) ①

[解説]

img 要素で画像を表示する際、横は width 属性、縦は height 属性に指定します。また、コメントは alt 属性で指定します。したがって、正しいのは「① 」になります。

■確認問題 2.3 (1) ②

[解説]

サウンドファイルを再生するときに利用する、HTML5 の要素は「② audio 要素」です。

■確認問題 2.3 (2) ④

[解説]

HTML5 では、属性値に属性名と同じ名前を値として指定するとき、属性名のみを記述すればよくなりました。したがって、正解は「④ autoplay」です。

■確認問題 2.3 (3) ④

[解説]

動画ファイルを再生するときに利用する、HTML5 の要素は「④ video 要素」です。

■確認問題 2.4 (1) ②

[解説]

canvas 要素に図を描くには、canvas 要素をオブジェクトとして扱う JavaScript が必要です。したがって、必要なのは「② script 要素に記述した、もしくはファイルとして用意した JavaScript」です。

■確認問題 2.4 (2) ①

[解説]

すべての要素にある属性のことを「① グローバル属性」といいます。

■確認問題 2.4 (3) ④

[解説]

canvas の領域を指定するには、横幅を canvas 要素の width 属性、縦幅を height 属性に指定します。したがって、正しいのは「④ <canvas id="myc" width="200" height="100"> ~ </canvas>」です。

■ 演習問題解答 ■

■ 演習問題 2 (解答例)

exercises02_1.html

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>HTML5 演習</title>
  </head>
  <body>
    <h1>吾輩は猫である</h1>
    <p><a href="exercises02_2.html"></a></p>
  </body>
</html>
```

exercises02_2.html

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>HTML5 演習</title>
  </head>
  <body>
    <h1>吾輩は猫である</h1>

    <p>夏目漱石 (<time>1867 年 2 月 9 日</time>－<time>1916 年 12 月 9 日</time>)
</p>
    <p><ruby>吾輩<rp>(</rp><rt>わがはい</rt><rp>)</rp></ruby>は<i>猫</i>で
ある。<strong>名前はまだ無い</strong>。</p>
  </body>
</html>
```

第 3 章

■ 確認問題解答・解説 ■

■ 確認問題 3.1 (1) ①

[解説]

並列順序型リストを作るには、**ul** 要素の内容として、項目を **li** 要素で記述します。したがって、正解は「① **ul** 要素の内容として、項目を **li** 要素で記述する。」です。

■ 確認問題 3.1 (2) ③

[解説]

順序付きリストを作るには、**ol** 要素の内容として、項目を **li** 要素で記述します。したがって、正解は「③ **ol** 要素の内容として、項目を **li** 要素で記述する。」です。

■ 確認問題 3.1 (3) ④ ①

[解説]

定義型リストを作るには、**dl** 要素の内容として、**dt** 要素で語句を、**dd** 要素で語句の説明を記述します。したがって、正解は「④ **dl** 要素の内容として、**dt** 要素の内容に語句を、**dd** 要素の内容にその説明を記述する。」です。

■ 確認問題 3.1 (4) ①

[解説]

並列順序型リストのマーカを変更するには、**style** 属性で **CSS** を指定します。**CSS** で、並列順序型リストのマーカを非表示にするには、「**list-style-type: none**」を **style** 属性に指定します。したがって、正解は「① **style="list-style-type: none"**」です。

■ 確認問題 3.2 (1) ② ③

[解説]

table 要素は内容として **caption** 要素、**thead** 要素、**tbody** 要素などを含みます。しかし **tbody** 要素は内容として **th** 要素、**tr** 要素、**td** 要素などを含むので②は間違いです。また、**caption** 要素はテーブルにキャプション(表のタイトルや説明)を付けるもので、ヘッダー行は **thead** 要素で表現します。したがって、③も間違いです。「④ **tr** 要素はテーブルの行を表し、その内容として **td** 要素でセルを構成します。」は正しい説明です。その結果、間違っているのは、②と③です。

■確認問題 3.2 (2) ④

[解説]

`caption` 要素は、`table` 要素の内容として先頭に記述するため①は正しいです。

`tbody` 要素は、`caption` 要素や `colgroup` 要素、`thead` 要素よりも後ろに記述するので②も正しいです。

`thead` 要素は、`tbody` 要素、`tfoot` 要素よりも前に配置するため③は正しいです。

`tbody` 要素は、`table` 要素の行グループとして複数登場してもかまいませんが、`thead` 要素と

`tfoot` 要素は、テーブルに 1 つだけなので、④のみが間違いです。

■確認問題 3.2 (3) ①

[解説]

横に並ぶ 3 つのセルを結合するには、`th` 要素、`td` 要素の `colspan` 属性で指定します。したがって、正解は「① `<td colspan="3">3` つのセルを接合して表示します。`</td>`」です。

■ 演習問題解答 ■

■ 演習問題 3 (1) (解答例)

exercises03_1.html

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>HTML5 演習</title>
  </head>
  <body>
    <h1>オムライスの作り方</h1>
    <p>1 人分の材料</p>
    <ul>
      <li>ご飯・・・200g</li>
      <li>卵・・・1個(溶いておく)</li>
      <li>タマネギ・・・1/4個(みじん切り)</li>
      <li>挽肉・・・50g</li>
      <li>ケチャップ・・・大さじ 1</li>
    </ul>
    <p>作り方</p>
    <ol>
      <li>フライパンでタマネギと挽肉を炒める。</li>
      <li>ご飯とケチャップを入れ、炒めてから皿に移す。</li>
      <li>フライパンに卵を薄く引く。</li>
      <li>少し固まったところに、先ほどのご飯を入れる。</li>
      <li>形を整えながら皿に盛る。</li>
    </ol>
  </body>
</html>
```

■演習問題 3 (2) (解答例)

exercises03_2.html

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>HTML5 演習</title>
    <style type="text/css">
      table, tr, td, th {
        border: 2px solid;
        border-collapse: collapse;
        padding: 5px;
      }
    </style>
  </head>
  <body>
    <h1>スマートフォン料金プラン</h1>
    <table>
      <caption>データプランでは、音声通話はできません。</caption>
      <thead>
        <tr>
          <th colspan="2"></th>
          <th>ベーシックプラン</th>
          <th>データプラン</th>
        </tr>
      </thead>
      <tbody>
        <tr>
          <th rowspan="2">基本料金</th>
          <th>高速 100M</th>
          <td>6,000 円/月</td>
          <td>4,500 円/月</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>低速 12M</th>
```

```
<td>5,500 円/月</td>
<td>3,500 円/月</td>
</tr>
<tr>
  <th colspan="2">プロバイダ料金</th>
  <td>300 円/月</td>
  <td>500 円/月</td>
</tr>
</tbody>
</table>
</body>
</html>
```

第 4 章

■ 確認問題解答・解説 ■

■ 確認問題 4.1 (1) ①エ ②ウ ③イ ④ア

[解説]

フォームは、ブラウザに「コントロール」を表示します。ユーザーは「コントロール」を使い、テキストを入力したり項目を選択したりすることができます。ユーザーが入力した情報は「submit ボタン」をクリックすることで「Web サーバ」に送信できます。「Web サーバ」は、取得した情報を「CGI プログラム」などに渡してデータベース検索などを行えます。

■ 確認問題 4.1 (2) ①

[解説]

フォームに入力した情報は、リクエスト情報として Web サーバに渡されます。この Web サーバや起動するプログラムの場所を示す URL は、form 要素の action 属性で指定します。したがって、正解は「① form 要素の action 属性で指定する。」です。

■ 確認問題 4.1 (3) ③

[解説]

label 要素は、コントロールなどのキャプションやタイトルを表現します。label 要素の for 属性と、コントロールの id 属性の値を同じにすることで、どのコントロールのキャプションかを表現できます。したがって、正解は「③ label 要素の for 属性と、コントロールの id 属性の値を同じにする。」です。

■ 確認問題 4.2 (1) ①

[解説]

input 要素の type 属性に「password」を指定すると、入力したテキストが「*」や「●」で表示されます。したがって、正解は「① <input type="password" name="password">」です。

■ 確認問題 4.2 (2) ②

[解説]

ラジオボタンは、同じ name 属性値のボタン同士が同じグループになります。したがって、正解は「② ラジオボタン2とラジオボタン3」です。

■確認問題 4.3 (1) ③

[解説]

正しい説明は以下になります。

フォームに入力したデータは、Web サーバに渡されるため①は間違いです。また、②は「CGI プログラムが Web サーバとして機能して」の部分が明らかに間違いです。④は「Web サーバを経由せずに CGI プログラムへ渡されます。」の部分がすでに間違っています。したがって、正しいのは③です。

■演習問題解答■

■演習問題 4 (解答例)

exercises04.html

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>HTML5 演習</title>
  </head>
  <body>
    <h1>お問い合わせ</h1>
    <form action="cgi/sample.php" method="post">
      <p><label>お名前 : <input type="text" name="uname"
size="20"></label></p>
      <p>
        <label for="ken">お住まいの都道府県 : </label>
        <select id="ken" name="pref_name">
          <option value="" selected>都道府県
          <option value="北海道">北海道
          <option value="青森県">青森県
          <option value="岩手県">岩手県
          <option value="宮城県">宮城県
          <option value="秋田県">秋田県
          <option value="山形県">山形県
          <option value="福島県">福島県
          <option value="茨城県">茨城県
```

<option value="栃木県">栃木県
<option value="群馬県">群馬県
<option value="埼玉県">埼玉県
<option value="千葉県">千葉県
<option value="東京都">東京都
<option value="神奈川県">神奈川県
<option value="新潟県">新潟県
<option value="富山県">富山県
<option value="石川県">石川県
<option value="福井県">福井県
<option value="山梨県">山梨県
<option value="長野県">長野県
<option value="岐阜県">岐阜県
<option value="静岡県">静岡県
<option value="愛知県">愛知県
<option value="三重県">三重県
<option value="滋賀県">滋賀県
<option value="京都府">京都府
<option value="大阪府">大阪府
<option value="兵庫県">兵庫県
<option value="奈良県">奈良県
<option value="和歌山県">和歌山県
<option value="鳥取県">鳥取県
<option value="島根県">島根県
<option value="岡山県">岡山県
<option value="広島県">広島県
<option value="山口県">山口県
<option value="徳島県">徳島県
<option value="香川県">香川県
<option value="愛媛県">愛媛県
<option value="高知県">高知県
<option value="福岡県">福岡県
<option value="佐賀県">佐賀県
<option value="長崎県">長崎県
<option value="熊本県">熊本県

```

        <option value="大分県">大分県
        <option value="宮崎県">宮崎県
        <option value="鹿児島県">鹿児島県
        <option value="沖縄県">沖縄県
    </select>
</p>
<fieldset><legend>性別</legend>
    <input type="radio" name="male" id="male"><label for="male">男性
</label>
    <input type="radio" name="female" id="female"><label for="female">
女性</label>
</fieldset>
<p><label>メールアドレス : <input type="email" name="email"
size="20"></label></p>
<p><label for="demand">お問い合わせ内容を以下に記入してください :
</label><br>
    <textarea id="demand" name="demand" cols="40" rows="4" maxlength="20">
</textarea>
</p>
<p><input type="submit" value="送信"></p>
</form>
</body>
</html>

```


第 5 章

■ 確認問題解答・解説 ■

■ 確認問題 5.1 (1) ④

[解説]

CSS の構文は「セクタ { プロパティ: 値 }」と記述するため、正解は「④ A・セクタ B・プロパティ C・値」になります。

■ 確認問題 5.1 (2) ②

[解説]

CSS ファイルを外部参照するには「② link 要素」を使います。

■ 確認問題 5.1 (3) ②

[解説]

要素の子要素、さらにその子要素(孫要素)すべてに対してスタイルが適用されるのは「子孫セクタ」です。したがって、正解は「② (E、F は要素名) E, F { ... }」です。

■ 確認問題 5.2 (1) ②

[解説]

文字の位置を行の中央に表示するには、**text-align** プロパティに **center** を指定します。したがって、正解は「② text-align」です。

■ 確認問題 5.2 (2) ①

[解説]

長さの指定で 1 文字分長さを指定するときの単位は「em」です。したがって、3 文字分の横幅を指定するときは「① 3em」と記述します。

■ 確認問題 5.2 (3) ③

[解説]

ボックスの横幅は「内容の横幅 + 左右の余白(padding) + 左右の境界線(border)の幅」になります。したがって、 $300 + 20 + 20 + 10 + 10$ で「③ 360px」になります。

■確認問題 5.3 (1) ③

[解説]

①の **text-align** は、行揃えの位置や均等割付を指定します。②の **vertical-align** は、行の中でのテキストや画像の縦方向の位置を指定します。④の **position** は、要素の配置方式を指定します。テキストや画像の回り込みを指定するプロパティは「③ **float**」です。

■確認問題 5.3 (2) ④

[解説]

要素に対して絶対的な配置を決めるには、**position** プロパティに **absolute** を指定します。したがって、正解は「④ **position** プロパティに、**absolute** を指定する」です。

■確認問題 5.3 (3) ③ ④

[解説]

①は、上下左右のマージンが **auto** になるので、左右はセンタリングされます。②は、最初の値が上下、次の値が左右のマージンです。左右が **auto** なので、センタリングされます。③は、上(**auto**)、左右(**5px**)、下(**auto**)の順で指定しているのでセンタリングされません。④は、上(**auto**)、右(**5px**)、下(**auto**)、左(**5px**)の順なので、センタリングされません。したがって、ブラウザの中央に表示されないものは③と④です。

■ 演習問題解答 ■

■ 演習問題 5 (解答例)

exercises05.html

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/exercises05.css">
    <title>HTML5 演習</title>
  </head>
  <body>
    <div id="site">
      <header>ヘッダー</header>
      <div id="wrapper">
        <nav>メニュー</nav>
        <section>コンテンツ</section>
      </div>
      <aside>サイドバー</aside>
      <footer>フッター</footer>
    </div>
  </body>
</html>
```

exercises05.css

```
@charset "utf-8";

body {
    background-image: url("../img/position.jpg");
}

header, nav, section, aside, footer {
    border: 1px solid #999999;
    border-radius: 8px;
    padding: 10px 10px 10px 10px;
    background: #ffffff;
}

#site {
    margin: 20px auto;
    width : 800px;
    height: 600px;
}

header {
    margin: 0px 0px 0px 0px;
    height: 80px;
    width: 778px;
}

#wrapper {
    margin: 10px 0px 10px 0px;
    float: left;
    height: 380px;
    width: 646px;
}

nav {
    margin: 0px 0px 0px 0px;
    float: left;
    height: 380px;
    width: 120px;
}

section {
    margin: 0px 0px 0px 0px;
```

```
float: right;
height: 380px;
width: 470px;
}
aside {
margin: 10px 0px 10px 0px;
float: right;
height: 380px;
width: 120px;
}
footer {
margin: 0px 0px 0px 0px;
clear: both;
height: 54px;
width: 778px;
}
```

第 6 章

■ 確認問題解答・解説 ■

■ 確認問題 6.1 (1) ②

[解説]

オブジェクト指向プログラミングでは、オブジェクトのプロパティをデータとして、メソッドを機能として利用しプログラムしていきます。したがって、正解は「② データとしてプロパティを、機能としてメソッドを使いプログラミングする。」です。

■ 確認問題 6.1 (2) ③

[解説]

JavaScript では、数字と数値の足し算は、文字同士の連結になります。つまり、「"3" + 4」は、文字 3 と文字 4 の連結になります。したがって、正解は「③ 34」です。

■ 確認問題 6.1 (3) ①var ②document ③write ④"3 + 4 = "

[解説]

```
<script>
  var a = 3;
  var b = 4;
  document.write("3 + 4 = ", a + b);
</script>
```

■ 確認問題 6.2 (1) ②

[解説]

変数 `i` は `10` で初期化されているため、`if` 文の条件式「`i != 10`」は `false` になります。条件式が `false` なので、`else` 文のステートメントブロックが実行されます。したがって、正解は「② 「`i` は `10` ではありません。」と表示される。」です。

■確認問題 6.2 (2) ③

[解説]

for 文の変数 **i** は **1** に初期化されて条件判断「**i < 3**」へ進みます。結果は **true** なので、ステートメントブロックへ進み、画面には「**1 回目**」と表示されます。次に「**++i**」により、**i** は **2**、条件判断は **true** になります。その結果、画面には「**2 回目**」が表示されます。再び「**++i**」で **i** は **3** になりますが、条件判断の「**i < 3**」は **false** になるため処理は終了します。したがって、正解は「③ 「1 回目」の下に「2 回目」と表示される。」です。

■確認問題 6.3 (1) ②

[解説]

オリジナル関数の宣言で、関数名に使用できる文字は、半角英数字と「**\$**(ダラー)」、「**_**(アンダースコア)」です。また、数字から始まる関数名は使えません。したがって、間違っているのは「② **function 2test(){ alert("HTML5"); }**」です。

■確認問題 6.3 (2) ④

[解説]

関数は呼び出して実行した後、戻り値を **return** 文で返すことができます。その戻り値は、代入演算子を使って変数に代入できます。代入とは、左側の値を右側の変数にコピーすることです。したがって、正しいのは「④ **var a = add(3,4);**」です。

■確認問題 6.3 (3) ③

[解説]

JavaScript では、Web ページを **Window** オブジェクトとして扱います。この **Window** オブジェクトが、Web ページを操作するときの親オブジェクトになります。したがって、正しいのは「③ **window** オブジェクト」です。

■確認問題 6.4 (1) ②

[解説]

マウスで左クリックしたときに発生するイベントは、「② **onClick** イベント」です。

■確認問題 6.4 (2) ②

[解説]

Web ページが読み込まれたときに発生するイベントは「② **onLoad** イベント」です。

■確認問題 6.4 (3) ②

[解説]

`form` コントロールの入力値を取得したいときは、フォームのオブジェクト→コントロールのオブジェクト→`value` プロパティの順に参照します。したがって正解は「② フォームコントロールオブジェクトの `value` プロパティを参照する。」です。

■確認問題 6.4 (3) ① ④

[解説]

5 項目のセレクトのオブジェクト名はすべて「`tselect`」です。そのため、チェックされているかどうかを調べるには、配列で「`tselect[0].selected`」～「`tselect[4].selected`」が `true` かどうかを調べます。

また、値は `value` プロパティに格納されているので「`document.question.tselect[0].value`」～「`document.question.tselect[4].value`」の値が、「30」かどうかを調べます。

配列の各要素へは変数 `i` の値を番号としてアクセスします。`for` 文では、最初に変数 `i` でその番号を作り出しています。ただし、②は変数 `i` が 0、1、2、3 までしか変化せず、5 番目の要素にアクセスしていません。③は 1、2、3、4 までしか変化しないので 1 番目の要素にアクセスしていません。①と④は、正しくすべてのセレクトをチェックしています。したがって、正しいのは①と④です。

■ 演習問題解答 ■

■ 演習問題 6 (解答例)

exercises06.html

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <script>
      function check(){
        var message = "";
        var i;
        if(! document.question.email.value.match(/^¥S+@¥S+¥.¥S+$/)){
          message += "メールアドレスが正しくありません¥n";
        }
        if(document.question.sex[0].checked == false &&
question.sex[1].checked == false){
          message += "性別が選択されていません¥n";
        }
        for(i = 1; i < 5; ++i){
          if(document.question.age[i].selected == true){
            break;
          }
        }
        if(i == 5) {
          message += "年齢が選択されていません";
        }
        if(message != ""){
          alert(message);
          return false;
        }
        alert("送信します。");
        return true;
      }
    </script>
```

```
<title>HTML5 演習</title>
</head>
<body>
  <form name="question" action="sample.php" method="post"
onSubmit="return check();">
    <p><label>e メール : <input type="email" name="email"></label></p>
    <p><label>性別 : <input type="radio" name="sex" value="男性">男性
      <input type="radio" name="sex" value="女性"></label>女性</p>
    <p><label for="age">年齢 : </label>
      <select id="age" name="age">
        <option selected value="0">選択してください</option>
        <option value="1">1 ～ 19 歳</option>
        <option value="2">20 ～ 39 歳</option>
        <option value="3">40 ～ 59 歳</option>
        <option value="4">60 歳 ～ </option>
      </select>
    <p><input type="submit" value="送信"></p>
  </form>
</body>
</html>
```